



会長に就任して

吉岡 望



定期総会での承認を受け、今年度の会長に就任しました。歴史あるOFGで、さらなる発展と活動の充実を目指し、皆様とともに歩んでいくことを光栄に思います。今年度の会員数は昨年度より減少し44名でスタートします。仕事や家庭の事情

で活動時間に制約がある会員も増えています。今後ますます会全体の連係が必要になります。一方、会員の半数を9,10期生が占めるようになり、大きな力になりつつあることは明るい材料です。

そうした中で、今年度は現行のガイドについての見直しや、新しいガイドの形態の検討を行います。また来年度予定されている、ふるさと案内人養成講座を成功させるために、本年度から始まる準備活動も大きなテーマです。諸先輩方の築いてこられた伝統を受け継ぎながら、マンネリに陥ることなく、持続可能なボランティア団体としていくことが求められています。

OFG会則の目的に「生涯学習として歴史と文化等を自主的に学ぶ」とあります。中国の古典「論語」に「これを知る者は、これを好む者に如かず、これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」(学ぶ者は好んで学習する者に勝てず、好んで学習する者は楽しんで学習する者に勝てない)と説かれています。皆様と協力しながら、より楽しく活動できるようにしていきましょう。一年間、宜しくお願い致します。

令和6年度定期総会報告

4月18日に令和6年度の定期総会が開催されました。

最初に脇田前会長からの挨拶があり、令和5年度は事業学習活動に注力し、4年ぶりのバス研修も行い、学習活動において多くの参加者があり、知識の蓄積と会員相互の親睦もはかることができたとの報告がありました。

来賓として8名の方々にご臨席いただき、前川町長を始め、北村町議会議長、馬場教育長、小西商工会副会長から祝辞をいただきました。

町長からは「伝統あるふるさとガイドの会が、今後とも地域活性化の原動力となっていたきたい、できる限りのサポートは行いたい」との激励の言葉をいただきました。

議事に入り、前会長から令和5年度の事業報告及び会計決算報告並びに会計監査役から会計監査報告があり、承認されました。その後、新年度役員選出と承認が行われました。吉岡新会長からは「再来年には創立30周年の大きな節目を迎えるOFGは、伝統を受け継ぎながら新しい力を生かし地域に愛される団体になりたい」との力強い言葉があり、令和6年度の事業計画案と会計予算案が提案され承認されました。最後に新会長より新役員、新幹事の紹介があり閉会となりました。

午後には会食と懇親会が行われ、芸達者な会員の余興もあり楽しい時間を過ごすことができました。
(副会長 池内 泉 記)

3月～4月の活動実績	活動予定
<p>1. 主なガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月13日(水) 向日市立第3向陽小学校4年生 57名 ・3月23日(土) 水辺の散策 雨天のため中止 ・3月28日(木) 大山崎町文化協会 11名 ・4月21日(日) 関西健歩会 13名 <p>2. 会の行事など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月20日(水) 古文書講座「昔の信仰の場を探る」 25名 ・4月2日(火) あちこち学習山歩73 坂本龍馬と歩く京の町 12名 ・4月18日(木) 令和6年度定期総会 37名 ・4月30日(火) あちこち学習山歩74 松尾山 11名 	<p>1. 主なガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月20日(土)～5月26日(日) 春の定点ガイド 全班 ・5月18日(土) 春の天王山ウォーキング 全班 ・5月20日(月) 第二大山崎小学校4年生 全班 ・6月13日(木) 長岡京市役所商工観光課 4班 <p>2. 行事予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月27日(月) あちこち学習山歩75 宇佐山城跡 <p>○歴史資料館小企画展 5月10日(金)～6月23日(日) 鉄道でお出かけ！大山崎～近現代の観光パンフレット</p> <p>○アサヒグループ大山崎山荘美術館 企画展 6月1日(土)～9月1日(日) 中国やきもの7000年の旅～大山崎山荘でめぐる陶磁器ヒストリー</p>

3-4月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館ガイド		出前ガイド		定点ガイド		合計	
3月	3件	81人	0件	0人	39件	75人	0件	0人	0件	0人	42件	156人
R5年度累計	37件	681人	2件	221人	343件	675人	2件	41人	666件	1,894人	1,050件	3,512人
4月	4件	31人	0件	0人	41件	71人	0件	0人	122件	394人	167件	496人

向日市立第3向陽小学校ふるさと学習 ～天王山

3月13日(水)、4年生と先生方、総勢57名を大山崎町歴史資料館に迎えました。6組に分かれ、ガイドが2名ずつ付いて、「大山崎の町や天王山を知ろう」というふるさと学習のスタートです。資料館では、航空写真の電子パネルや出土した瓦、ベルトなどの遺物に興味津々、待庵のレプリカには首を傾げながらも熱心にメモを取る姿が見られました。

天王山登山が始まると、「天王山陶板画」を見つけて枚数を数えたり、すれ違う登山者と挨拶を交わしたりと、緊張もほぐれ、足並みも快調です。青木葉谷公園や旗立松からの展望、山崎合戦の陶板パネルは大人気でした。また、十七烈士の墓や酒解神社では熱心に説明を聞いたり、お参りしたりと真剣な姿も見られました。

いよいよ山頂へ。お昼には、一人で寂しく食べる

子がいないようにと先生の指導の下、誘い合ってグループで仲良く食事をとり、風が少し冷たい中でも時間一杯まで走り回っていました。

記念撮影では「エイエイオー」の掛け声で頂上制覇を喜び、「はがきの木」と呼ばれる珍しいタラヨウの葉には、家族あての言葉や今日の思い出を綴って持ち帰ります。滑りやすい足元に苦戦しながらも無事、瓦窯跡公園にゴールとなりました。

向日市と大山崎町はすぐ近くの町、今日の経験が地域にも興味をもつきっかけになれば、と願いつつガイドを終えました。

(3班 市原寛之 記)



～わたしのふるさと～

縁結びの神様「出雲大社」、その近くの久多見というところが私の故郷です。子供の頃、海辺でサザエなどの貝採りや魚釣りに、時を忘れて遊んだことを思い出します。

出雲大社は、高さ24mの大きな本殿と注連縄、そして空を突き刺すような千木で有名ですが、上古には96m、平安時代では48mあったといわれています。

2000年に本殿の南側で鎌倉初期の造営と推定される3本1組の大きな柱根が発掘され、巨大な神殿の存在を裏付ける大発見となりました。皆さんも訪れて見てください。余談ですが私の苗字「森脇」は、出雲大社上官家「森脇松若家」に由来するというのが我が家の伝承です。



出雲大社 復元図

(1班 森脇 剛 記)

私のふるさととは、京都府北部・丹後半島の付け根あたりにある与謝野町です。与謝野町は平成18年に3つの町が合併してできた町で、この町名からは歌人の与謝野鉄幹・晶子夫妻が思い浮かぶかと思えますが、鉄幹の父がこの地の生まれで、そのゆかりで名付けられたそうです。

地場産業は織物業が盛んで、かつて高級織物「丹後ちりめん」の産地として、その製造には300年もの古い歴史があります。私の子どもの頃は町内の多くの家が機(はた)織りをしており、町中どこに行っても機織り機のカチャカチャという音がしている町でした。近くには日本三景・天橋立があり、生活圏内で眺められるのは与謝野町ならではの魅力です。



天橋立

(2班 山崎正道 記)

文化協会 同行ガイド記

3月28日(木)歩くにはちょうど良い天候のもと、大山崎町文化協会の方々11名をご案内しました。

役場前から百々遺跡、ねじりマンボ、大日の森を経て円明教寺をゴールとするコースでした。

参加者は11名ですが10期の新しい会員に経験を積んでもらおうと、村中、皆本、私の3名で担当しました。

百々遺跡では発掘調査で分かった当時の様子について話しました。



ねじりマンボ

ねじりマンボは村中さんが担当し、わかりやすい話しぶりで事前勉強の成果を発揮されていました。

身をかがめてねじりマンボをくぐり、阪急の線路沿いから久保川沿いを遡るルートで大

日の森に到着しました。

大日の森では皆本さんがひと通りの説明の後、ペープサートという紙人形劇で兵左衛門と弥衛門の話の演じ、皆さん楽しんでおられました。ペープサートとはあまりなじみのない言葉ですが、表と裏に異なる絵が描かれたうちわのような紙人形を用いて一人で演じる劇です。

円明教寺は、お堂に入れないのでガイド説明・資料集の画像を使って説明しました。

2時間弱の短い時間でしたが、あまりガイドできない場所をガイドできたのは今後役に立ったと思います。また、新しい会員にもいい勉強になったかと思っています。



大日の森

(1班 三宅秀輝 記)

会員動向 昨年度中に、1班の鈴木 工氏・松本真一氏、2班の奥野忠雄氏・金森恵美子氏、3班の蜷木茂徳氏・北畑由美氏、4班の故永田正明氏・西木 豊氏が退会されました。これまでのご貢献に感謝申し上げます。